

「マダガスカル手話の世界」

東京外国語大学オープンアカデミー2012 年度公開講座

「言葉とその周辺をきわめる」

2012.10.23 (火)

東京外国語大学総合国際学研究院

准教授 箕浦信勝

1. マダガスカル語でもない、フランス語でもない、日本手話とも違う、独自の混成言語マダガスカル手話の世界 (--まず最初に、ありがちな誤解から--)

1.1. 手話って世界共通でしょ？

日本手話と、アメリカ手話と、マダガスカル手話で、大体同じ意味の手話単語をお示しします。皆さん、意味が推測できますか？

1.2. 手話は世界共通にすべきでは？

←手話は「人工言語」であるとの誤解。

←言葉の無い聾児が、聴者である先生等が創った手話を学ぶという誤解。

↓

(他国の聾者、聴者からのインプットがある場合もあるが、)

手話のほとんどの部分は、聾児たちが生み出してきたもの。

参照：スティーブン・ピンカー『言語を生み出す本能〈上〉・

〈下〉』、日本放送出版協会、1995

1970年代にニカラグアに初めて建てられた聾学校で独自の

手話が生み出されてきた過程を描写している。

聾児たちが「手話言語」とは言えないホームサインを持ち寄ったが、集団生活の中でどんどん語彙も文法も豊かになっていった。

1.3. 手話は地域の音声言語を2次的に「転写」したものだという誤解。

「あなたはマダガスカル手話を勉強し（始め）終えましたか？」

(マダガスカル手話) (2004年の記憶から)

- (1) IANAO(IX₂) TT MIANATRA VITA?
あなた 手話 学ぶ 終えた
「あなたは手話を勉強し(始め) 終えましたか？」

- (2) IANAO(IX₂) MIANATRA TT VITA?
あなた 学ぶ 手話 終えた
「あなたは手話を勉強し(始め) 終えましたか？」

(焦点が当てられた VITA (終えた) が文末に置かれている。)

(参照: ロシア語等の完了アスペクト動詞「ちょっと~した」)

(マダガスカル語: 直訳。こういう風に言っているかどうかは不明。)

- (3) *vita* ve mianatra teni-n'ny tanana ianao? (??)
終えた か? 学ぶ ことば リンカー 定冠詞 手 あなた
「あなたは手話を勉強し(始め) 終えましたか？」
(焦点が当てられた *vita* (終えた) が文頭に置かれ、*ve* (か) が後続している。)

マダガスカル手話は「主題 ---- 焦点 (思い出し主題)」の語順。

音声マダガスカル語は「焦点 ---- 主題」の語順

2. マダガスカル手話の来歴

2.1. アンツィラベ聾学校(Fo.Fa.Ma)

- ・ 1960年にルーテル教会によって創立。1960年って何の年でしたか?
- ・ 主に手仕事(木工、裁縫など)を教えた。手話は?
- ・ 1880年ミラノ会議からの口話主義の影響は少ない。(→日本; ←ノルウェー?)
- ・ ノルウェーから数人の先生が来た。 → ノルウェー手話からの影響

2.2. 首都のアカニニ・マレニナ聾学校(Akanin'ny Marenina, Aka.Ma)

- ・ マダガスカル手話を「豊かにしようと」「手を加えている」
- ・ → 単語の二重性・多重性(曜日、数字その他) → 4.2.

3. マダガスカル手話の成分

3.1. 他言語に依存しない独自の部分

- ・ほとんどの部分。起源はジェスチャーか？
- ・しかし、(場当たりな) ジェスチャーとは違い「言語化」している。

3.2. 「系統と関係なく」手話諸言語に共通した部分

- ・素動詞 (plain verb)、一致動詞 (agreement verb)、空間動詞 (spatial verb)の区別
一致動詞は、主語と(間接)目的語と人称の一致をする。(手話る)
空間動詞は、空間的位置と一致する。(→類別述語構造)
素動詞は一致しない。

- ・類別述語構造 (classifier construction。CL とも。追い越し合う。アメリカ手話、日本手話からの例。)(CL は類別辞 classifier ; 名詞を類別する。Cf. 助数詞)

(4) 私 世界 旅行 嫌い ; CL:飛行機+落ちる (日本手話)
「私海外旅行嫌い。飛行機が落ちるから」

- ・ロール・シフト (role shift, referential shift, 一人語りの際、会話を描写するときなどに3人称や2人称が1人称に憑依する。参照：落語)

(5) 英 : (s)he was like

(6) 日 :みたいな。

(7) A: MANAHOANA TOMPOKO!

どんな 主人

「こんにちわ！」

B: MANAHOANA TOMPOKO!

どんな 主人

「こんにちわ！」

A: INONA VAOVAO?

何 新しい?

「新しいことは何かありますか？」

B: VAOVAO TSY.MISY

無い

「新しいことはありません」

3.3. 音声・書記マダガスカル語からの影響

- ・(部分的に) 語順 (文体によって影響の度合いは違う。)

・語彙の「範疇化」(きょうだい等)

- (8) a. ANABAVY
異性の女きょうだい
b. ANADAHY
異性の男きょうだい
c. RAHAVAVY/RAHALAHY
同性のきょうだい
d. ZOKY
年上のきょうだい
e. ZANDRY
年下のきょうだい

・マダガスカル語に寄った文体 (手指マダガスカル語。マダガスカル語対応手話)

- (9) ANDRO MAFANA (マダガスカル手話)
日 暑い
「(今日は) 暑い」

- (10) MAFANA NY ANDRO (手指マダガスカル語)
暑い 定冠詞 日
「(今日は) 暑い」

3.4. ノルウェー手話からの影響

・単語を「比較」すると類似が見られる。しかし、フランス手話とアメリカ手話の50%よりは少ないだろう。→今後の課題

3.5. 音声フランス語からの影響 (フランス語口形)

- (11) OLANA
olana/problème
問題

3.6. 音声ノルウェー語からの影響（ノルウェー語口形）

- (12) MARENINA
marenina/døv
聾

4. マダガスカル手話における諸問題

4.1. 単語数が足りない。(増やさなきゃ！Aka.Ma vs. 聾者の社会参画によって増えるはず。)(参考： 全日本ろうあ連盟 vs. Dpro)

4.2. 人為操作による語彙項目の二重性・多重性

	伝統的手話	Aka.Ma 手話
(13)	a. ALATSINAINY 月曜日（定規日）	b. ALATSINAINY 月曜日（L日）
(14)	a. TALATA 火曜日（編み物日）	b. TALATA 火曜日（T日）
(15)	a. ALAROBIA 水曜日（鋸日）	b. ALAROBIA 水曜日（R日）
(16)	a. ALAKAMISY 木曜日（縫い物日）	b. ALAKAMISY 木曜日（K日）
(17)	a. ZOMA 金曜日（雑巾日）	b. ZOMA 金曜日（Z日）
(18)	a. ASABOTSY 土曜日（膝叩き日）	b. ASABOTSY 土曜日（S日）
(19)	a. ALAHADY 日曜日（祈り日）	b. ALAHADY 日曜日（祈り日）
(20)	a. 16 c. 666	b. 16 d. 666

5. モノローグ（一人語り）

「アンバトゥフツィ」

ここ アンタナナリブ あそこ アンバトゥフツィ／／昨日 配偶者-私の と
子供 男の 2、彼ら2人 乗る バイク 行く みち まっすぐな、くねく
ねとした／／アンバトゥフツィ 散歩する あそこ ある 池 大きい ある

丘／／したい-あなたが 登る ～まで てっぺん 山 立つ 見る 田舎 見
る 明るく いい 顔 場所／／また あそこ ある 田舎 網で獲る 魚
大きい ある 小さい 色 赤い／／それ 食べる できる、終わる／／夕方
帰宅、行く くねくねと 行く／／着く 家 子供-私の 男の 嬉しい 空気
そこ 綺麗 言う／／また 食事 持って行く 満腹 終わる／／充分 満腹
／／否定 無くなる 持って行く 帰宅／／あげる ママ 満腹／／否定 無
くなる おいしい／／それ 食事 昼／／終わる／／

「アンタナナリブのアンバトゥフツィで。昨日、夫と息子の2人がバイクに乗
ってまっすぐな道やくねくねとした道を行った。アンバトゥフツィを散歩する
と、そこには大きい池と丘がある。登りたければ、山の頂上まで登って田舎を
見渡すことができる。綺麗な場所だ。また、田舎では魚を網で獲ることができ
る。大きいのも小さいのも。赤い色の魚。それを食べるができる。食べた。
夕方帰宅する。くねくねとした道に行く。息子は家に到着して、空気がきれい
で嬉しかったと言う。また、お弁当を持って行ったが、満腹した。十分に満腹
した。お弁当は無くならなかったのだから家に持って帰った。ママにあげて、ママ
は満腹した。美味しいものは無くならなかった。それが昼ご飯。おしまい。」

参考文献

- Minoura, Nobukatsu, Word Order in Malagasy Sign Language (TTM), 東京外国語大
学論集第 77 号, 77 巻 47--69, 2008 年 (SOV 語順に関する論文)
-----, Relativization or Nominalization in Malagasy Sign Language (TTM), 東京外
国語大学論集第 81 号, 81 巻 183--228, 2010 年 (関係節化に関する論文)
-----, More on Word Order in Malagasy Sign Language (TTM), 東京外国語大学論
集第 84 号, 84 巻 159--184, 2012 年 (語順の様々に関する論文)
-----, Theme, Rheme, and Focus in Malagasy Sign Language (TTM), 東京外国語大
学論集第 85 号, 85 巻, 印刷中 (テーマ、レーマ、焦点に関する論文)

(インターネット上でも “Minoura Nobukatsu Malagasy Sign Language” で検索す
れば PDF ファイルが出てくる。しかし手指表現に関しての情報は無い。)

(マダガスカル聾者連盟による辞書がある。しかし日本国内で入手することは
困難。)